

事例27 小単元「2 国の政治のしくみ」

国会のはたらき「衆議院の優越」 －「ガソリン税」の急な値下がり！値上がり！！－

社会科 第3学年

中能登町立鳥屋中学校

1 事例の概要

本事例は、3年生の公民的分野において「法律ができるまで」の単元で、何か身近な話題を使って「衆議院の優越」について考えさせたいと考えた。そこで、前時までに「選挙のしくみ」において『ねじれ国会』の状態にあることを既習しており、前時に「国会のしくみ」について『法律ができるまで』を簡単に学習している。本時では、「ガソリン税」を題材に、ガソリン価格がこの時期に多く変動したことを利用して、「衆議院の優越」についての活用力（思考・判断・表現力）向上をねらった学習例である。

2 実践内容

(1) 単元の目標

「法律の制定」が国会のはたらきの中心であることを理解する。

「法律ができるまで」の資料を参考にして、衆議院と参議院との違いを理解し、衆議院が優越する理由を、資料などを参考に考察する。

(2) 指導上の工夫点

① 指導法の工夫

・本時では、「活用力」向上の手立てとして、具体的な例（ガソリン税）を参考にした課題を小グループで思考・判断し、発表内容を評価し、その作業を通して衆議院が優越する理由を考えさせる。

② 社会科的活動の工夫

・前時までの基本用語をフラッシュパネルとして、導入でくり返し確認する。

・毎時間1名、新聞記事を切り抜いたものにスピーチを付け、授業開始時等に「1分間スピーチ」として、発表する。

・法律ができるまでなどの板書用カードを作成し、授業で使用するほか、フラッシュカードとしても活用する。

・基本的な学習内容、応用的な学習内容のための学習シートを準備し、予習や学習展開の中で使用する。

③ 学習定着のための工夫

ア 学習ルールの定着

・毎時間「1分間スピーチ」をする。学習シートを予習して授業に臨む、など。

イ 社会科的環境づくり

・1分間スピーチやレポートなどの優秀作品の掲示など。

3 指導の実際

段階	学習内容	生徒の活動	・指導上の留意点と◎評価
導入 (10)	1. 1分間スピーチ 2. 国会のしくみについて復習する。	・本日の発表者が、1分間スピーチをする。 ・フラッシュパネルを利用して、これまでの学習内容を振り返る。	・しっかりスピーチできるよう支援し、コメントをつける。 ・自由に大きな声で答えるよう促す。
展開 (35)	学習課題1 どうして「ガソリン価格」が大きく変動しているのだろう。		
	3. 「法律のできるまで」の学習カードを利用して説明する。	・班ごとに学習シートの質問1について考える。 ($120 \times 50 = 6,000$ 円、 $173.8 \times 50 = 8,690$ 円に消費税5%分 434.5 円で約 9,125 円)	・ステージ1～4のヒントから「ガソリン税」を計算する。 ◎ヒントを参考に協力して、考察しているか。(思考・判断) ※月に3回は入れるよねえ!
	学習課題2 国会でどんな話し合いが行われたのだろう。		
	4. 「衆議院に優越」が認められている理由を資料を参考にまとめる。	・質問2について各自で考え、班で意見交換する。(衆で可決→参で否決→衆で再可決がガソリン価格変動の理由)	◎既習の「ねじれ国会」を理由に衆議院と参議院の意見が異なったことを踏まえ、説明しているか。(学び合い、発表)
まとめ (5)	5. 本時のまとめと次時の予告。	・衆議院に優越が認められている理由を調べ、まとめる。	・学習シートに評価し、提出させる。

C-1 指導案

C-2 学習シート

4 成果と課題

(1) 成果

①指導方法の工夫として、**衆議院** **参議院** **可決** **否決** **成立** **衆議院の優越** **→**など、板書用のパネルを黒板に貼って考察させるようにした。生徒の学習シートでの評価でも、視覚的に考えやすかった、という意見が多かった。

②国会のはたらきを、身近な話題から考えることができ、学び合いながら、普段より意欲的に授業に参加することができた。

(2) 課題

①税込みの価格の計算に手間取り、電卓などを準備すべきであった。

②学習シートを4つのステージにわけて、分かりやすくしたつもりであったが、他の情報に惑わされ、必要な情報だけをつかって、説明しきれいでなかった。